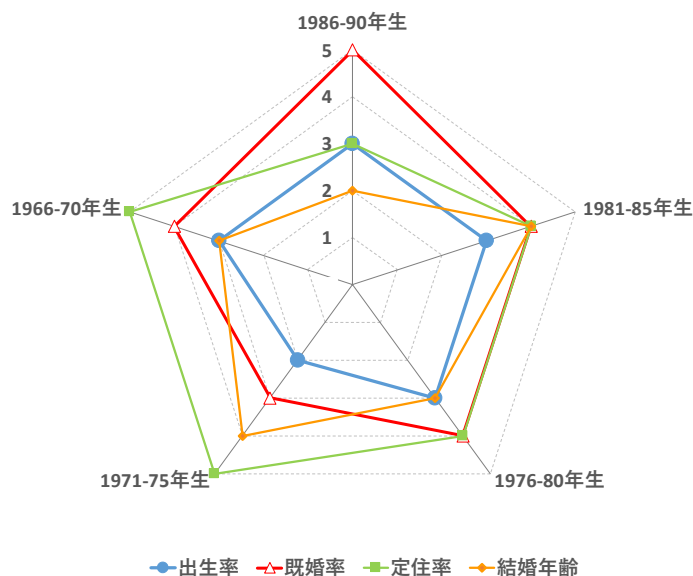


(4) 柏崎市

①出生に関する総合評価

図4-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

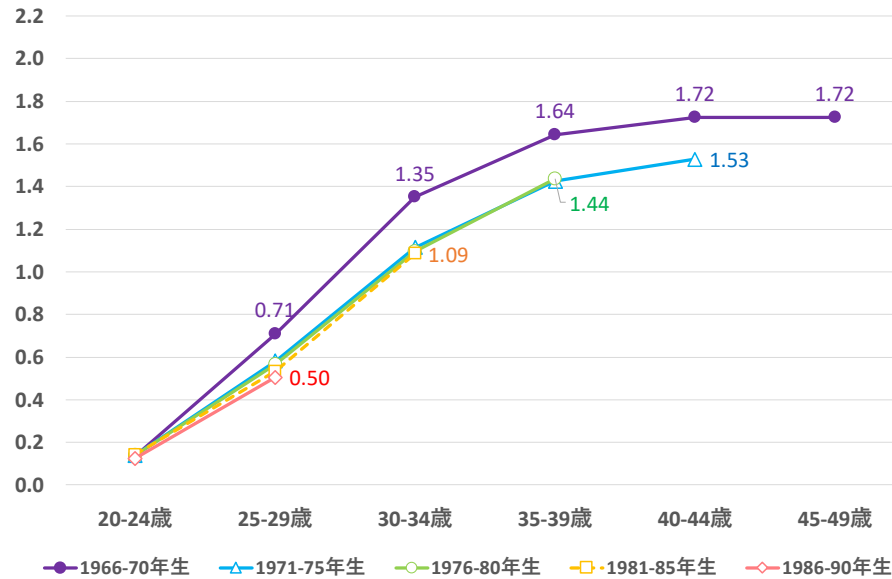
1. 合計出生率は、1966-70年生まれ、1976-80年生まれから1986-90年生まれまでは中位であるが、1971-75年生まれは下位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生、1976-80年生と1981-85年生は上位、1971-75年生まれは中位、1986-90年生まれは最上位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生と1971-75年生は最上位、1976-80年生まれと1981-85年生まれは上位、1986-90年生まれは中位である。
4. 女性結婚年齢は、1986-90年生まれは下位、1966-70年生まれと1976-80年生まれは中位、1971-75年生と1981-85年生は上位である。

【総合評価】

1. 柏崎市は1980年代前半生まれまでは、定住率が上位以上である。既婚率も結婚年齢も中位以上である。しかし、80年代後半生まれコホートは、結婚年齢と定住率がそれぞれ下位と中位に低下した。合計出生率は全コホートで中位程度である。
2. 柏崎市の女性定住率が高かったのは、柏崎市固有の要因があったからと言えそうであるが、1986-90年生まれは20歳代での定住率の低下が著しく、結婚年齢も下位に低下している。1970年代後半以降のコホートでは、それ以前よりも、20歳代と30歳代の定住率が大きく低下しており、若年女性の定着も課題である。一方で、同世代でも既婚率が最上位を維持していることが強みであり、合計出生率が中位で維持されている。
3. 1980年代生まれの20歳代後半から30歳代前半の男性既婚率は女性と比較して特に低いことから、出生率の上昇には未婚男性対策も不可欠である。

②コホート合計出生率

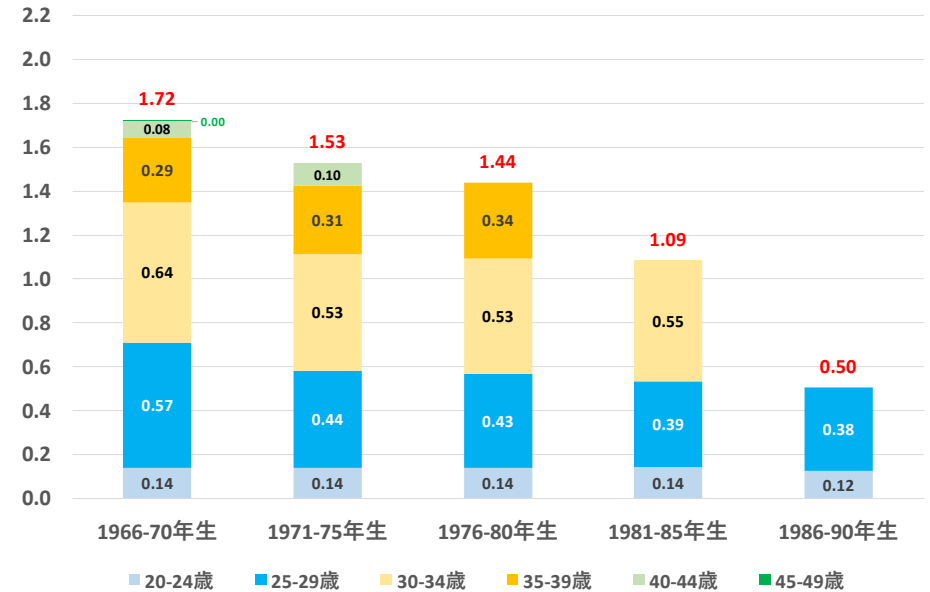
図 4-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 4-2 は、柏崎市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。しかし、1971-75 年生まれ以降のコホート間では、わずかに低下傾向があるものの、他市町村と異なり、顕著な低下傾向は確認されない。

図 4-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

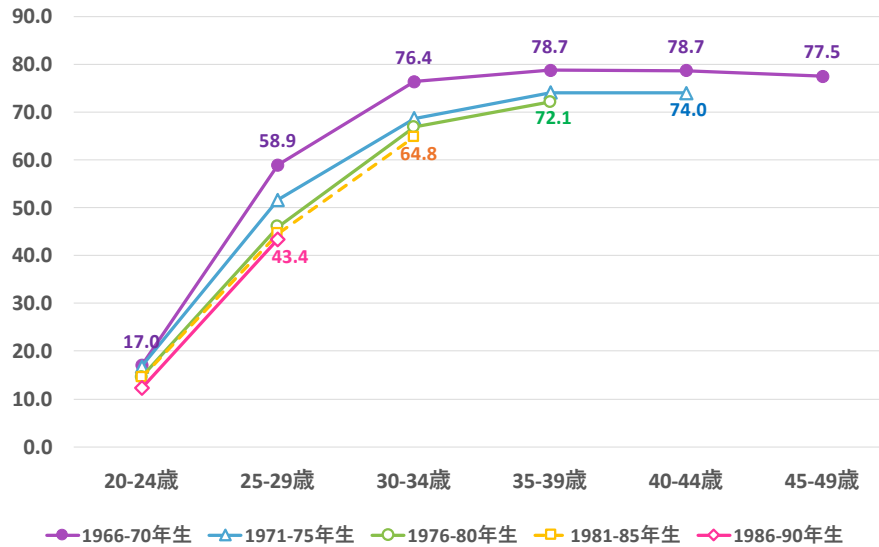


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 4-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.71 人に対して、1986-90 年生まれは 0.50 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.93 人に対して、1976-80 年生まれは 0.87 人に減少している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも子どもが生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.94 人に減少している。

③コホート別既婚率

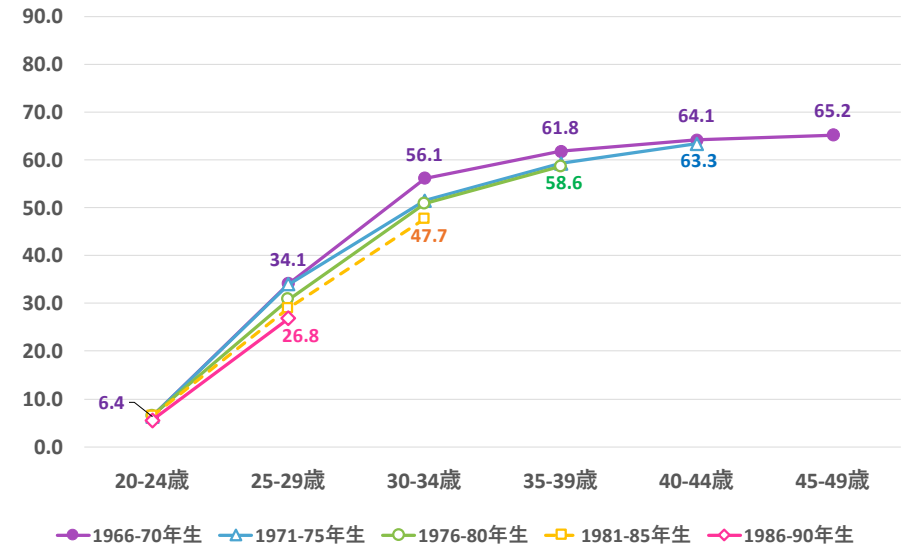
図 4-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 4-4 は、コホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 58.9%から 1986-90 年生まれは 43.4%へと 15.5 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 78.7%から 1976-80 年生まれは 72.1%に 6.6 ポイント低下している。

図 4-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

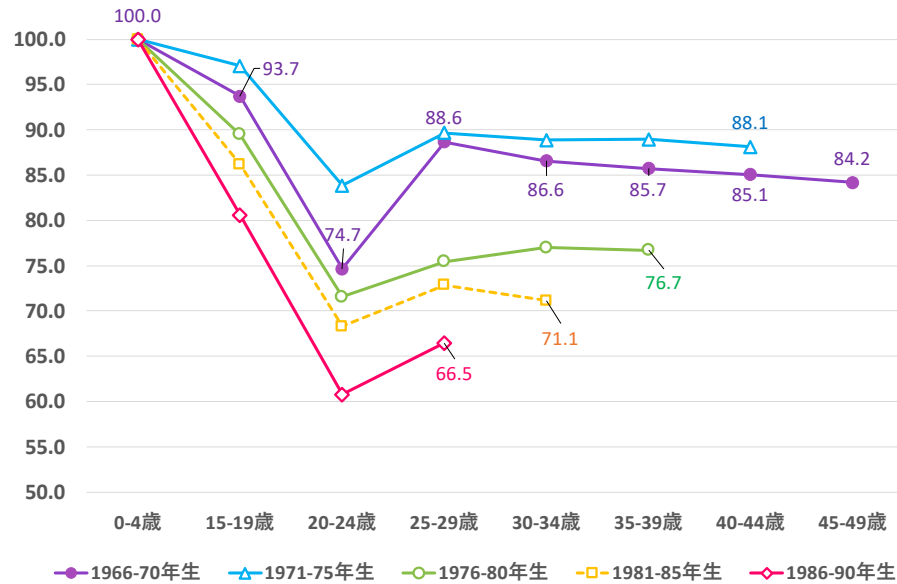


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 4-5 は、コホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 34.1%から 1986-90 年生まれは 26.8%に 7.3 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 61.8%から、1976-80 年生まれは 58.6%に 3.2 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台半ばに達するが、男性は 60%台半ばに止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 4-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

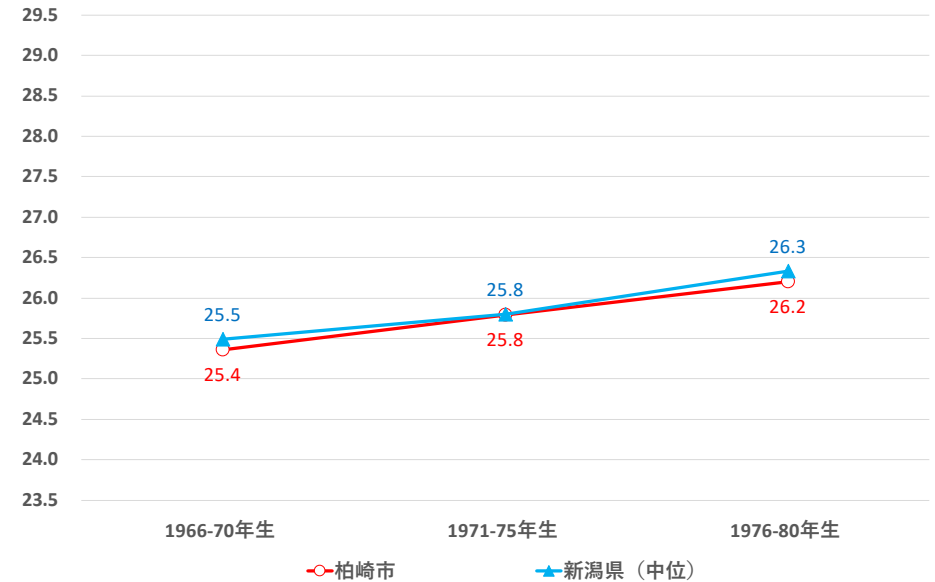


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 4-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの88.6から1986-90年生まれは66.5に22.1ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの85.7から1976-80年生まれは76.7に9.0ポイント減少している。
- ・ 柏崎市では、25-39歳時でみると、1971-75年生まれ以前は0-4歳時点の80%台後半の人口水準を維持していたが、1976-80年生まれ以降は、定住率が60%台半ばから70%台半ばまで大幅に低下した。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 4-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

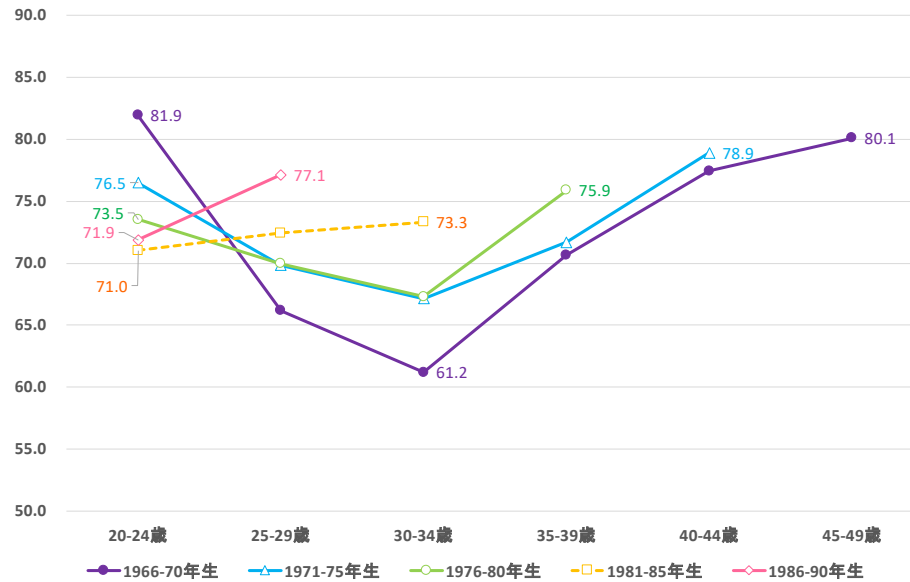


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 4-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.4歳、25.8歳、26.2歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.8歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は11位、1971-75年生の県内順位は13位、1976-80年生は12位と平均結婚年齢が県内平均(中位)程度の自治体となっている。

⑥コホート別女性就業率

図 4-8 コホート別女性就業率 単位：%

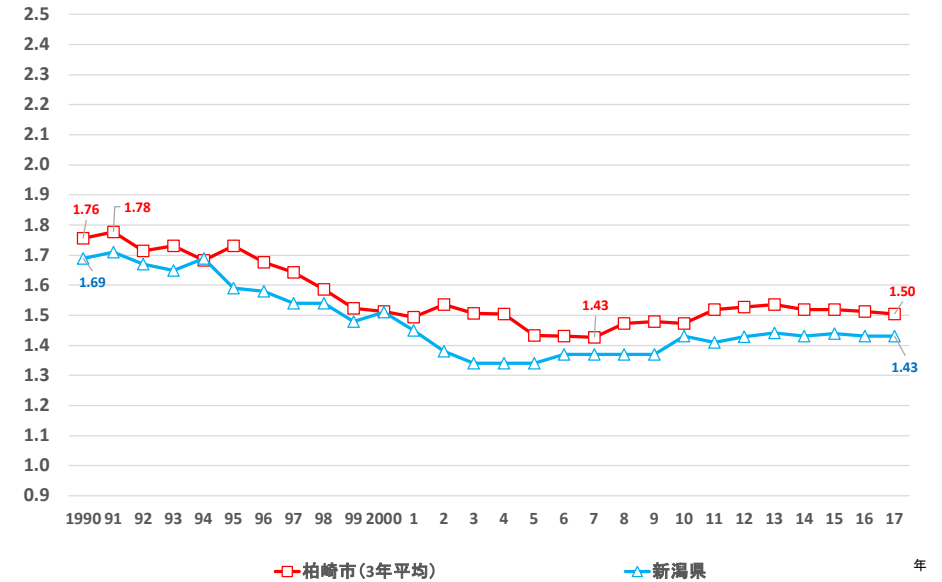


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 4-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれ、1971-75 年生まれ、1976-80 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 61.2%であったのに対して、1981-85 年生まれは 73.3%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 4-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 4-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と柏崎市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降で見ると、柏崎市の期間合計特殊出生率は 1994 年を除き、新潟県平均より高く、期間平均は 0.08 ポイント高い。
- ・ 1991 年の 1.78 から低下したが、2005-07 年の 1.43 を底に 2017 年には 1.50 にわずかに上昇している。